

武相エコノミスト

第10号

2018.8.1

BUSO ECONOMIST

tenth issue

2018夏 エコノミスト対談

株式会社ギオン
代表取締役会長兼社長

医療法人 直源会 相模原南病院
理事長

祇園 義久 × 石川 誠剛

私の行きつけの店
築地 山加

AREA TOPICS

ピアニスト 古海 行子氏

社員を大切にしている経営こそが 企業を成長させる

医療法人 直源会 相模原南病院
理事長

株式会社ギオン
代表取締役会長兼社長

石川 誠剛 × 祇園 義久

労働人口の減少から生じる人材不足、グローバル化の深化やIoTやAIによる産業構造の変化など働き方を取り巻く環境は大きく変化しつつある。多様な働き方が求められる今、企業価値の向上を左右する「ヒトへの投資」を、業種も世代も全く異なる二人のリーダーが語る。



「職場で輝けるか、活躍できる場所をつくれるか」

石川 誠剛
医療法人 直源会 相模原南病院 理事長
昭和56年の開院以来、高齢者の入院施設として成長。平成12年の介護保険制度の施行に伴い、病棟を医療病棟、介護病棟、認知症病棟に特化し、高齢者の長期療養型病院として地域医療を支えている。

司会 石川さんは高齢者療養型病院の理事で2代目ということですが、先代はどういう経緯で病院を設立されたのですか？

石川 父は政治家志望でしたが当時葬儀屋を営んでいました。ただ、周りの方の助言があったり、葬儀させていただく際に挨拶に伺うのがとても辛かったらしく、では病院を作ろうということになったようです。病院を建てた土地は祖母のものでしたが、その祖母から人の役に立つなら、という後押しもあつたようです。

司会 終末医療に進んでいかれたのは何かきっかけがあつたのですか？

石川 終末医療がメインになったのは開院から5年目頃だったと思います。元々葬儀屋だったので「いい看取りを」という想いも少しはあつたのだと思います。さらに祖父は幼稚園もやっています、所謂「ゆりかご

から墓場まで」、地域の皆さんのお役に立ちたいということだったのではないでしょうか。

司会 先代は祇園会長と大変懇意にされていたそうですね。

石川 父は会長としてもタイプが似ていて、ザ・創業者という感じでした。これをやるんだと決めたら周囲のことは構わず突き進むタイプでした。ですから、会長にはなんだか自分のお父さんのような親近感があるんです。

司会 ご相談などもされるんですよね。

石川 はい、何でも聞いていただいていますし、いろいろ教えてもらっています。同友会にお声掛けいただいたのも会長からです。
司会 お二人の共通点として、海外でボランティアをされた経験があるということですが、きっかけは何だったのですか？

石川 研修医時代に医局の教授がたまたまカンボジアの「健康をつくる会」という海外ボランティアのNPOをやっています。「研修医で誰か行かないか」という話があつたんです。当時、僕はまだ経験もあまりない若い頃でしたから、現地で成長したいというのと、話に聞いていたカンボジアの惨状をなんとかしたいという気持ちで同行することにしました。

司会 そこで感じられたことを教えてください。

石川 1回行くことやほりなかなかなかやめられないといいますが、1回や2回で変わるものではないので、良くなると実感できるまで続けたと思います、5〜6年行つたんです。現地で医療の大切さ、必要性をリアルに感じ、僕も一応医療人のはしくれとして、人の役に立ちたいという基本部分を再確認できた体験だつたと思います。また、カンボジアが戦後の日本のような雰囲気、とても不思議な感じでしたね。

司会 会長はどのようなことがきっかけでボランティアに行かれたんですか？

祇園 私は仕事とは関係なくて、高校生から戦争や日本軍のことに凄く興味を持っていて、日本のために命を捧げた人々たちを何でこんなに粗末にしているのかという疑問があつたんです。高校時代から戦没者の慰霊碑を掃除して回った時期もありまして。ボランティアは、パラオに日本軍の遺骨収集で行つたんです。
司会 お二人とも、根本的には「人の役に

立ちたい」という気持ちがきっかけだったということですね。そういえば、会長は人脈を作る際にそういった歴史の話が役に立つたとお聞きしたことがあります。

祇園 いや、私は18歳のとき岡山からたった一人で上京してきて、仕事もないし身寄りもないし、誰も知らないから仕方なく、といいますが、誰かと知り合いにならなくちゃ、と思って、混んでいる蕎麦屋に敢えて入り、相席して知り合いを作ったりして入りました。その際、話のきつかけとして自分の経験談を用いたりしていました。それは今でも出合いが非常に大切で、いい出会いを求めるということに繋がっています。

司会 人との出会いは、ザルで水を掬うが如く、絶えず心掛けていないと減る一方です。遠くに行つてしまう人、あの世に旅立つていく人。つまり、それなりに人脈を保つには日頃から出合いを大切にしないといけないということですね。これまでの数々の出会いがなかったら、今の私はないと思っています。

石川 僕も会長に色々な人を紹介していただきました。会長のことも近くで見えていますから、出合いは大切だと切実に感じています。

司会 石川さんは、事業継承をされたとき、これだけはやるぞというような思いは何かありましたか？

石川 僕は2代目ですから、今まで病院を支えてきてくれた人たちに、失礼のないように、ということがまず一つありました。

ずっと働いてくださっている方に対しては、父を支えていただいた訳ですから、失礼があつては勿論いけないですし、感謝の気持ちで接し、これからも力になっていただきたいという気持ちです。もう一つは自分なりに新しいものにどうやったらトライできるのかということですね。

司会 新しいトライで具体的にイメージされたことはありますか？

石川 基本的に周りの方に支えられている業種ですので、その人たちが輝いているか、活躍できる場所をつくれるのか、などということですね。会長にそういったところは教えていただきました。

祇園 弊社もそうですが、何でも「人」がポイントです。今、トラック運送事業を行う会社は国内でおよそ6万社あるんですけども、弊社だけ他と違ったやり方をしてい

ると思つています。それは「限りなく自社の車と人でやる」ということです。自社車両保有台数は3000台、従業員は5000名を目標に、どんどん増やし続けていますが、退職する方もおられますから、人についてはそう簡単ではありません。実はアメリカの流通大手も弊社のやり方に非常に興味を持っておられて。この業界は下請け構造で、同業他社は殆ど下請けを使っていますが、弊社が敢えて逆張りです。自社の社員で、ということが気になるということですね。

司会 雇用確保というのは大変ですよ。気をすることも多いでしょうし。

石川 それだけ人数が多いと、人材育成も大変ですよ。会長は何か肝だとお考えですか？

祇園 これは、現場にいる人たちや本社に



「人を動かし、育て、実らせる。その為には信頼し、感謝の意を伝えること」

祇園 義久
株式会社ギオン 代表取締役会長兼社長
創業1965年の総合物流企業。国内に65を超える拠点と6つの関連会社を持ち、「物流」「健康」「環境」を軸とした幅広い事業を展開している。



私の行きつけの店 Vol.7
My Favorite Place

本物の魚を最高の状態で。 元魚屋が営む海鮮居酒屋

築地 山加 × (株)ヴィレッジ 専務取締役 水野 仁



上)カウンターなら大将から魚の話の聞きながら楽しめる。下)若大将はFC相模原の望月代表に「相模原にプロサッカーチームを作ってくれ」と直訴した張本人。地元愛にも溢れている。

相模原市で旨い魚と言えば、真つ先にその名が挙がる。「築地山加」は祖師谷で魚屋を営んでいた店主が平成5年にオープンした海鮮居酒屋。地元で知らない人は殆どいない。相模原駅から歩いて約5分、17時オープンの店はあつという間に満席になる。週末には予約なしでまず入れない。入口付近のカウンターと奥の小上がりを合わせて50名程で満席になる店内は常に活気に溢れている。

イチオシは、大抵の客が頼む刺身盛り合わせ。大皿に豪快に盛り込まれた刺身に、魚の名が分かるよう小さな旗が立っているのが山加スタイル。並んでいる刺身は、築地で仕入れたものや産地から直送されたもの、どれも宝石のように色艶のいい魚ばかりだ。運が良ければ、クエや松葉カレイといった普段お目にかかれないレアなものも並ぶことも。

魚を食べる前には、威勢のいい若大将が手際良くタブレット片手に魚の説明をしてくれる。画像や時には動画を見せ、魚の種類や特色、水揚げされた港などを教えてくれるのだ。

刺身盛り合わせ以外にも焼き魚や煮魚、さらに魚以外の料理も本格派だ。鰹と昆布だしでふわっと焼き上げただし巻き卵や自家製の豆腐で作る揚げ出し豆腐、野菜料理やデザートまで、多彩なメニューが揃う。日本酒や焼酎の品揃えにもこだわりを持つ。

そんな山加がお気に入りの株式会社ヴィレッジの水野仁氏。四谷在住で近くの荒木町でよく飲むというグルメな水野氏も山加のクオリティには一目置いている。

「刺身は勿論ですが、煮魚、そして自家製揚げ出し豆腐がおススメです。でも、何よりも僕が好きなのは若大将の熱いトーク。そして、山加に行ったら自分で頼んじゃダメ。その日お店にある一番美味しいものをバランス良く出してくれるから、信頼して全て任せよう。」

魚を知り尽くした職人に全てを託し至福の時間を過ごす。そんな楽しみ方が地元で出来る唯一の店かもしれない。



いる人たち、また仕事の内容が違っているとそれだけで違うので一概には言えません。でも、一つ言えることは、山本五十六元帥をご存じでしょうか、彼の言葉は本当に素晴らしい。弊社では朝礼をやる部屋の必ず見えるところに山本五十六元帥の有名な言葉を貼つてあるのですが、それに尽きるところではないです。

司会 やはり人間教育的な部分ですね。何千人もの社員の皆さんに、そのような経営理念をどのように浸透させているのですか？

祇園 年中無休の事業所もあり、さらにあちこちに散らばっているので一堂に集めてというのは無理なんです。ですから、まずは管理職にしっかり浸透させ、その管理職が部下に浸透させていく、ということをやっています。

司会 石川さんのところは人材育成はどのようなことに注力されていますか？

石川 育成については、人間教育といえますか、実際に自分の正義感を高めて、一生懸命やれる状況が作れたらベストですが、それに対してどうレベルアップしていくのかというところは模索中です。周りを見てあつちではできないのに何だ、みたいな話になりがちですが、それをいかに自分自身に向けてられるか。昔の人の家訓のような「五つの心」というものがうちにもあります。

また、採用の際にも自ら成長したい、という向上心を持つている人を採用するようにしています。ただ仕事に向き合うという



ことではなく、仕事の中でも自分が成長しようという意識をもって臨んでいる、そういった人たちです。

司会 「五つの心」は先代が作られたのですか？

石川 はい、父が作ったものです。毎日ではないですが朝礼で唱和しています。

司会 「内面を磨く」ということは難しいです。コミュニケーションについてはどのように工夫されていますか？

石川 話をする時間をどう持つか。現場職は24時間入れかわり立ちかわりです。その中でしっかりミーティングをして、伝言作業を省かずに伝えることを心掛けています。サイボウズのようなコミュニケーションツールも導入していますが、年齢層もあり

ますし、結局はアナログで顔を突き合わせで意思疎通を図るということですね。

祇園 私ももう70歳過ぎてだんだんフットワークが悪くなっていますが、各地の事業所に行き、「今日こうして会社があるのも皆さんのおかげです」と、そんなに大したことではないですが、できる限り自分の言葉で伝えるようにしています。一人一人握手をして肩をたたいたりしてね。そうすると新潟あたりだとエプロンで嬉し涙を拭く人もいたり、周りももらい泣きしちゃったりすることもありますね。もつとたくさんのお褒めとお邪魔して従業員の方々の苦労、お礼を言いたいのですが、最近では拠点の数も増えてきて、なかなか足を運び切れないのが現状です。

司会 そこまで愛されていると言いますか、会長のご人徳ですよ。

石川 そこまでカリスマになれるんですね。僕も見習わないと。

祇園 でもこれは面白いことに地域性があつて、関西へ行くと誰一人泣く人なんかなくて、皆けるつとしてるんですよ。

石川 でも、会長が自分の言葉で皆さんを労うというその気持ち、その行動は素晴らしいですよ。忙しくてなかなかできることではないと思います。

祇園 じゃないと何千人も動かさないです。もちろん報酬という部分で還元することも大切ですが、24時間、年中無休でやってくれている訳ですから自分で労いたい。

まして、我々の業種はどちらかと言うと今まであまり表に出てくることのない業種という位置づけでしたから。

司会 今はそんな感じではないですよ。

祇園 そうですね、逆に人手不足の時代になりました。私はもう少し寿命があれば少しでも長生きして以前のように、トラックドライバーが憧れの職業となるのを見届けた。創業以来、着実に一步一步歩んで来て、時代の潮流を見極めて新規事業にも参入したり。これから先は良くなる一方だと思っています。

石川 人手不足対策として、外国人労働者や自動運転などはどうですか？

祇園 我々の業種ではまだ難しいですね。自動運転も夢のまた夢で、乗用車はさておき、トラックになると日本の道路事情ではまだ厳しいと思います。東名高速などで大型車両が連結して幹線輸送するのは、この先10年ぐらいで実現できるかもしれません。

司会 そうですか。一番最初に普及しそうなのが運送業界なのでは、と思つていたのですが、いずれにしても、やはり企業を支えているのは「人」であるということでしょうか。

祇園 その通りです。企業を支えているのは人、その人を成長させるのが企業です。共に成長し、お客様と社会にさらなる貢献を果たしていくことが、企業の存在意義だと思つています。

この対談は平成30年7月13日に行われました。

MONTHLY MEETING 例会 報告 February-June 2018

第94回 例 会 2018 2/8 (木) ホテル ラポール千寿閣

「相模原市の経済・財政を考える」

市政研究委員会主催の意見交換会。圏央道の相模原IC 開通、補給廠の一部変換、リニア新幹線の新駅開業などで活気づく市の財政状況、そこから派生するまちづくりを市議が説明、会員とディスカスしました。



第95回 例 会 2018 3/8 (木) ホテル ラポール千寿閣

「いのちの授業」 株式会社BS-TBS 取締役会長 平本 和生 氏

田中角栄や竹下登両総理の番記者で町田出身の報道マン・平本氏が、生前の野中廣務氏にピンチを救われたエピソードや、105歳の長寿を全うされた日野原重明医師の貴重な遺訓などを熱く披露されました。



第96回 例 会 2018 4/19 (木) ホテル ラポール千寿閣

「経営視点での情報セキュリティと働き方改革」 キヤノン電子 情報セキュリティ研究所 服部 清幸 氏

ウィルスやセキュリティソフトの現状や効果を説明し、増大するサイバー脅威の最新動向から被害を最小化する戦略をお話いただきました。会員企業のセキュリティ担当者も多数参加した例会でした。



2018年度 総 会 2018 5/17 (木) ホテル ラポール千寿閣

第12回 町田・相模原経済同友会 総会

会員増員で過去最多の60名近くが出席。前年度の事業と新年度の計画報告、収入支出報告と予算の可決承認、協議事項及び各委員選任の報告が行われ、懇親会には音楽座ミュージカルの新人も登場しました。



武相エコノミスト 第10号 2018年8月1日発行

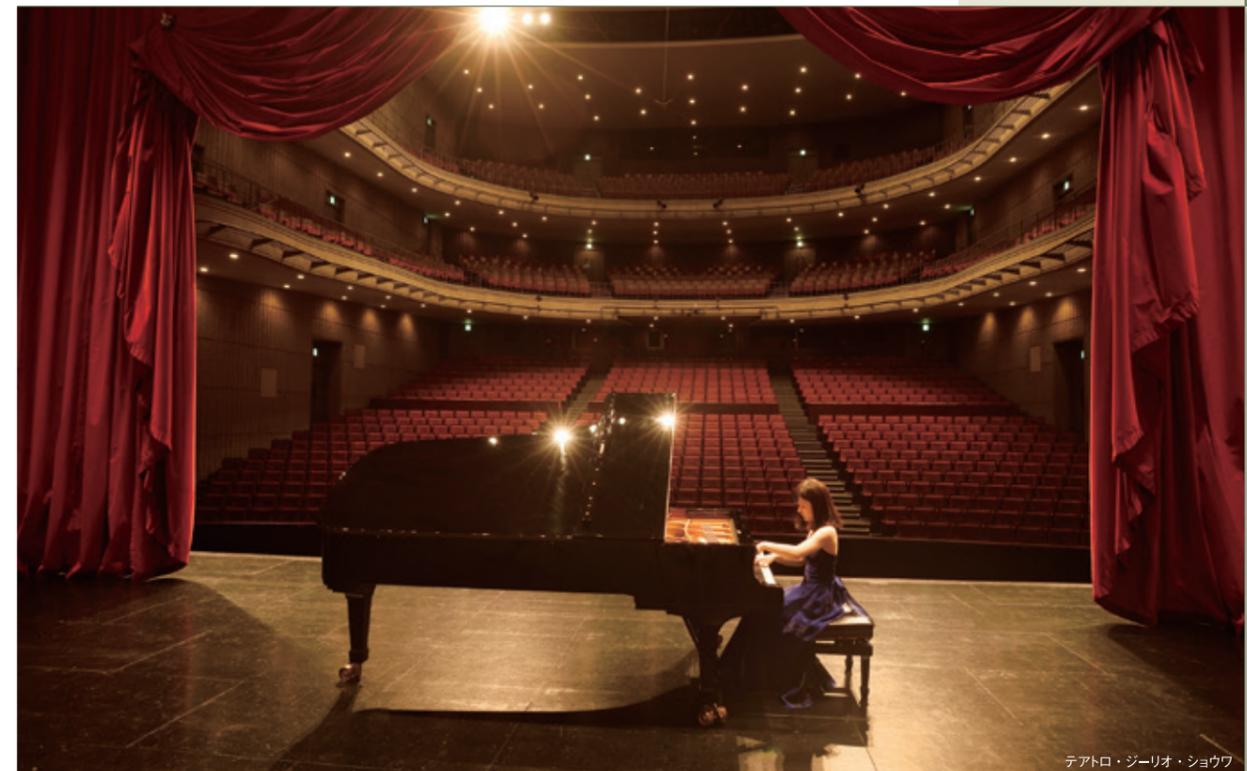
発行 町田・相模原経済同友会
〒194-0022 東京都町田市森野1-25-17 パレス熊沢part1-2F
TEL/FAX 042-726-3577
制作 株式会社VisionDesign
町田・相模原経済同友会入会のお申込み・お問合せは
TEL 042-726-3577
http://www.ms-doyukai.jp/

※本紙掲載の写真、記事、ロゴの無断転載、および複写を禁じます

第97回 例 会 2018 6/14 (木) ホテル ラポール千寿閣

「玉川学園の歩み」 玉川大学経営学部国際経営学科 教授 菊池 重雄 氏

全人教育という理事長提唱の教育論や、総合学園として教育研究活動する玉川モットーを強調。また学園創設の経緯や歴史を解説しつつ、多彩に展開する独自プログラム、大学のパラダイムシフトも語られました。

古海行子 (ふるみやすこ)
1998年生まれ。第7回福田靖子賞選考会第1位、第20回浜松国際ピアノアカデミーコンクール第2位、
ショパン国際ピアノコンクール in ASIAアジア大会高校生部門金賞、コンチェルトB部門金賞、コンチェルトC部門銀賞ほか受賞多数

相模原市生まれの古海行子さんがピアノを習い始めたのは幼稚園に通っていた頃。初めは純粋に音楽を楽しむだけの彼女だったが、次第にこの世界へ夢中になっていった。小学校5年生の時に、自宅のピアノはアップライトピアノからグランドピアノに変わった。部屋には防音設備も施され、ピアノを練習する環境が整えられた中で、彼女は技術を磨いていった。

大きな転機は中学1年生の時に訪れた。昭和音楽大学付属ピアノアトアカデミーに入学し、江口文子氏に出会う。そして、これまでとは違うピアノの世界に触れることになった。江口氏の指導は技術的なことだけでなく、作品や音楽との向き合い方、ピアニストとして、そして人として大切にすべきことまで及ぶ。同じアカデミーに通う夢多き未来のピアニストたちからも刺激を受けた。

現在は新百合ヶ丘にある昭和音楽大学ピアノ演奏家コースに通い、ピアノ中心の生活を送る。大学ではピアノのレッスンは勿論、作曲家や演奏家、作品や楽譜、その他の音楽全般について詳しく学び、音楽家としての素養や感性を育む努力も怠らない。



「小さい頃から自然に楽しくピアノを弾いてこれたと思います。今、特に好きな作曲家はシューマン。アンサンブルやオーケストラと一緒に演奏するのも楽しくて好きですね。弾いてみたい曲はラフマニノフのピアノ協奏曲です。これからは演奏させていただける機会を大切に、たくさん曲を弾いていきたいと思っています。」

控えめでもの静かな口調とは対照的に、ピアノに向かう彼女は力強く、テンペラメントに富んだピアニズムをみせる。心がけていることは、「作曲家が曲に込めた想いやその曲が作られた背景を大切に演奏すること」とだという。時代背景や作曲家への敬意を忘れずに、伸びやかで豊かな感性に彩られたピアニスト。弱冠20歳の彼女が描く未来は無敵だ。

目指しているのは、作曲家の想いを追究した美しい音

今年3月、世界中から332名が応募した若手音楽家の登竜門「高松国際ピアノコンクール」で、古海行子さんが日本人として初の優勝を飾った。豊かな音楽性と圧倒的な演奏で委嘱作品演奏者賞ほか4つの賞も受賞した彼女は今、最も注目されている若手ピアニストだ。

上)生まれも育ちも相模原市南区。趣味はバレエや映画鑑賞 下)高松では香川県知事賞、委嘱作品演奏者賞ほか3つの賞も受賞。さらにオーケストラとの共演やリサイタルの機会も手にした

売買・賃貸・管理・リフォーム・耐震



朝日リビング株式会社

感謝の心を忘れずに、これからも、ずっとこの街と。
朝日リビング株式会社は、1972年創業。
次の50年も、貴方と共に。

東京・神奈川・千葉・埼玉 一都三県を結ぶ、朝日リビングネットワーク



<http://www.asahi-lv.co.jp>

- ・町田本社営業部・十日市場営業所・千葉ニュータウン営業所
- ・多摩営業所・金沢営業所・大宮営業所・志木営業所
- ・新宿営業センター・湘南辻堂営業所・横浜営業所・柏営業所



〒194-0022
東京都町田市森野 1-8-3 丸昌町田ビル 2F・3F

☎: 042-726-5211



ビジネスにレジャーに快適な立地。
朝日ホテルチェーン株式会社

大和第一ホテル

<http://www.yamato-daiichi-h.jp>

町田・相模原経済同友会様

特別プラン

お一人様
¥5,400-
(税金・サービス料込)
シングル 10㎡
※ 通常料金 ¥7,560-

朝食付き
お一人様
¥6,000-
(朝食・税金・サービス料込)
シングル 10㎡
※ 通常料金 ¥8,360-

- 左記料金は通年とさせていただきます。
- 小田急江ノ島線・相鉄線/大和駅
小田急改札口より、徒歩2分!

〒242-0021
神奈川県大和市中央1-3-19
☎: 046-262-2311

※ ご予約の際は、まず「町田・相模原経済同友会」と、お申し出下さいませ。